

市政懇談会でいただいたご意見・ご要望の回答について

6月23日から28日までに開催した、大仙市議会「市政懇談会」の回答についてお知らせいたします。いただいたご要望等のうち、市長へ文書で通知したものについては、各担当課から回答をいただいておりますので、そちらもお知らせさせていただきます。

※紙面の都合上、全ての意見を掲載できないため、一部抜粋して掲載しております。

【当日の回答】

No.	地域	いただいたご意見	回 答
1	大曲 (はなび・ アム・藤木・ 大川西根・ 四ツ屋)	広報誌など、必ず紙でなくてもデジタルの方が利便性のいい人いるのではないかと。選択制にしては。	行政協力員による配付の仕方や折り込みの書類もあるので、一律配付にご理解いただきたい。
2		共働きの親が多くなり、学童保育の時間をもう少し長くしてもらえないか。	学童保育利用は年々増えている。大仙市では19時まで延長できる。また、ファミリーサポート事業も利用してほしい。
3		子育てしながら会議に出るのは難しいが、託児スペースなどがあると参加しやすい。子育て世代にも広く周知してほしい。	本庁にキッズスペースができ、今後支所にも展開していく。充実に努め、周知に力を入れる。
4		公民館改築の順番等について	四ツ屋公民館は、コミュニティ会議を通じて陳情・要望があり、地域での積極的な議論で計画が進んだ。総意を持って要望してほしい。また、公共施設総合管理計画の中で調査し、計画されている。
5		詐欺の事例が多発している。電話やスマホに係る詐欺案件が落ち着かない。事例が出るたび、注意喚起してほしい。	注意喚起を引き続き行っていく。防犯講座もあるので、自治会や老人クラブの集まりで講座を活用するなど工夫をして、周知を図っていただきたい。
6		少子化対策として給食費の無償化を実施してほしい。大仙市に来てくれる人が増えるのではないかと。	親の事情で子どもに窮屈な思いをさせてはならない。全国的な流れも大きくなってきているので、実現に向け働きかけをしていきたい。
7		クマの出没が多くなっているが対策はあるか。	墓のお供え物や弁当の空き容器を放置しないよう注意喚起するとともに、クマの出没情報を一斉メールにて発信している。
8		災害時に大曲中学校が避難所となるが、水害の際は2階以上に避難することになっている。周りの浸水による孤立や備蓄状況が不安。	市内は最悪4.5メートル水没となる。そうならないよう堤防整備を進め、内水排除もしっかり行う。
9		職員削減について、効率だけでなく行政サービスへの影響も考慮し、バランスを取ることが大事ではないか。	合併当初は職員数も借金も多かったが削減してきていた。行政サービスの質を維持するためにはある程度は必要と考える。
10		各地域で花火が上がるようになった。花火産業構想事業について、大曲だけでなく地域全体で推し進め、一体感を持つことが必要ではないか。	大曲地域だけの花火ということではなく、市の花火大会として認識されるよう発信していく。
11	神岡	神岡中央公園の整備内容について、どのような設備を置き、その配置や広さはどのようにするのか。	今年計画し、来年設計、再来年に建設の予定。現在、計画の前段階の構想は出来ている。
12		福祉センターが解体されるので、農村環境改善センターを上手く活用したらいいのではないかと。	公共施設の在り方の考えについてはその通りなので、既存のものを活用していく。
13	西仙北	総合防災課から空き家や自治会館の雪下ろし、防火水槽の除雪を自治会で行うと補助金が出るとの話を聞いた。この10年間何ももらわないでしまった。早速申請したいが、申請書類はあるのか。	私の方の自治会では10年ほど前から助成をいただいている。きちんと申請すれば防災備品ももらえるので、申請書により申請いただきたい。



西仙北会場



四ツ屋会場



藤木会場

No.	地域	いただいたご意見	回 答
14	西 仙 北	除雪関係の申請をするため窓口に行ったところ、申請は11月末までであり、12月以降は申請できないと言われてしまった。11月時点では大雪になるかも分からないため、申請についてはもっと柔軟な対応ができないものか。	申請期限だけはお守りいただきたい。申請して実際には雪が降らなくて利用しなかった場合は、当然キャンセルや減額といったことができる。
15		ヤングケアラー調査の結果、9人が自分自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答したのことであるが、認識の違いや判断の難しさがあるのではないか。困ったことがあったら何でも相談できるような体制にしてほしい。	個人情報と家庭内のことで難しいが、情報を共有する場をつくり、専門家も交えた体制を整えていきたい。
16	中 仙	子どもが少なくなり、PTAなどの親の負担が大きい。中仙小と清水小の統合を進めてほしい。アプリでの子育て相談の利便性をよくしてもらいたい。	小学校の統合も段階的に考えている。要望があったことはお伝えする。市の母子手帳アプリは24時間受け付けしているので活用してほしい。
17		県道沿いには空き家が目立ち、景観にも影響する。対策を知りたい。	解体に対する支援制度は全部で七つメニューがある。内容を拡充しているので活用してほしい。解体後の土地を地域で活用する場合は9割補助している。
18		産後休暇が終わった後に速やかに復職できるよう、0歳児の入園受け入れ態勢を整えてほしい。	昨年から保育施設の空き状況を可視化できるようにしている。全ての保育施設で空きをつくる余裕はないが、市内のどこかに空きがある状況。利用環境をさらに整えていく。
19		秋田県で育成を推奨しているサキホコレは、地域メッシュの関係で作ることができない。今後、解消していくのか。	現段階では中山間地域では作ることができない。試験場で3年目の試験を行っており、結果次第で可能になることもあるので、試験場の判断を待つ。
20	協 和	拠点整備した場所などへは車がないと行けず、地域の世代交流館は拠り所である。豪雨時には避難所として、また、会合や行事で使っている場所なので存続してほしい。	明日に廃止するというわけではなく、管理運営を地域で行ってもらえないかということ。難しいのであれば指定管理において行う。
21		中淀川中村地区上流は災害が起きやすい。特別対策事業にあげてもらい、河川改修工事を早めてもらいたい。	緊急特別対策事業として雄物川の両岸改修は一旦終了したが、今後もかさ上げ等について国に積極的に要望していくので、地元の協力もいただきたい。
22		農業後継者の育成のために保育園などと連携し、農業の楽しさや土に触れる体験をさせて、小さい時から親しみを持たせるとよいのではないか。	法人で食育を行っており、小学校5年生を対象に稲刈り、試食、販売を体験させている。生育の過程など一貫した流れで学ぶことは必要である。
23	仙 北	過去に横堀地区の運動会が開催されていた。今後、部落対抗の行事を検討してもらえないか。	地域一体となった活動が必要な時期と考える。自治協議会で話題として取り上げ、地域予算を有効活用するなどし、協議検討いただきたい。
24		地域の問題を誰に相談すればいいのか。一番身近な市議会議員に相談するのがよいと思う。今後も市民のために頑張っていただければと思う。	ありがとうございます。一生懸命頑張らせていただきます。
25		キャンプで使うまきや着火剤をもみ殻を固めて作ったり、再造林モデル事業での木を使用したり、包括的に利用してはどうか。	事業と事業を結び付けて、総合的に循環するような取り組みの提案であり勉強になった。機会を見つけ提案していきたい。
26	太 田	給食センターや歯医者などの空き施設を再利用できるのではないかと。使わないのはもったいない。	その通りと思う。太田地域だけでなく、他地域でもさまざまな空いてくる。農業法人などに貸すこともできる。アイデアをいただきたい。
27		加工所があるが後継者不足で大変。昔から続いてきた直売が高齢化し自然消滅する。出せば売れるのだが、人手が足りず対応できない。	労働力を調整するなど政策的に何とかできないか。農業と商業が垣根を取り、連携していく必要があるのではないかと。



太田会場



仙北会場



協和会場

【行政側からの回答】

No.	地域	いただいたご意見	担当課	回 答
1	大曲 (はなび・アム・藤木・大川西根)	封筒やマークシート鉛筆など会議ごとに配るのはもったいない。封筒も印字部分の位置を工夫し再利用できるようにしては。	総務課	封筒や鉛筆の削減、封筒の利活用については、行財政運営、また、環境面からも重要であり引き続き取り組んでまいります。 また、市では、各種申請やアンケートなどのオンライン手続きを推進しており、こうしたデジタル化を活用した取り組みも推進してまいります。
2		パワーコメリ・かっぱ寿司～大曲駅東口間の視覚障害者誘導用ブロックが破損しやすいため、材質を検討しては。	道路河川課	駅東線に設置されている点字ブロックは、主に「溶融式」の直接舗装に塗る比較的傷みやすいものであり、現在「貼り付け式」に順次変更を進めているところです。また、大型店舗前など車両通行の多い場所には、「埋め込み式」の施工を検討してまいります。
3		子どもの健康や予防接種について、副反応もあるので、ワクチンの有効性等の情報を積極的に発信した上で、各家庭の選択制にしてほしい。	健康増進センター	法で定められている定期予防接種については、有効性の観点からも接種を勧奨しておりますが、接種の有無をご家庭で判断いただくことに、問題はありません。 市では、出生されたお子さんに「予防接種と子どもの健康」を配布し、ワクチンの有効性や副反応等の情報を提供するとともに、ホームページや母子手帳アプリ等でも情報発信を行っております。
4		市役所からの電話表示が63-1111のみでどここの課からのものか分からなく不便である。(協議会など掛け持ちしており不便に感じてきた)	財産活用課	全課直通番号の外線発信を可能にするためには、電話交換機の更新に多額の費用を要することから、外線発信の多い部署などヘイターネットを活用した外線発信サービスの部分導入を検討しています。
5		災害時の要支援者については、いざ災害が起きたときに必要な情報であり開示できないか。消防団や民生委員には伝わっているのか。	社会福祉課	現在、名簿登載に同意された方の情報を掲載した要支援者名簿は警察、消防、担当民生委員および社会福祉協議会のほか、名簿の提供を希望した町内会や自主防災組織に提供しています。 災害など緊急事態発生時には、不同意の方も含めた要支援者の情報を必要に応じて関係機関に提供しております。
6		自主防災としてミニミニ防災教室を行った。非常食や炊き出しの補助を活用し好評であった。小さな部落ごとでやることは有効に感じた。	総合防災課	総合防災課に防災管理監を配置し、自主防災組織を主体に防災講話を行うなどの支援を行っております。今後も、地域におけるさまざまな取り組みを支援するとともに、より多くの皆さんから参加していただけるよう一層周知してまいります。
7	神岡	人口減少対策してると思うが、全国では大胆な施策や移住に手厚い自治体がある。大仙市ほどの程度、重要視しているか。	総合政策課	市では、各分野を代表する皆さんの意見を伺いながら、農業振興や企業振興、企業誘致、移住定住、結婚・子育て支援など、六つの重点施策を中心に人口減少対策を進めています。 こうした取り組みも一助となり、令和2年国勢調査での市の人口が国の推計人口を上回るなど人口減少スピードの緩和がみられました。 全国の事例も研究しつつ、引き続き未来への投資を含めた総合的な人口減少対策に取り組んでまいります。
8	西仙北	強首地区、大沢郷地区などは、水害時に避難できる避難所が旧西仙北西中学校体育館一つしかない。この避難場所を中心とした避難場所の充実を要望したい。	総合防災課	現在、旧西仙北西中学校体育館以外の避難場所の設置について検討しており、適切な避難場所の配置を進めてまいります。
9	南外	クマの出没がよくあり、急ぎよ児童の送迎を依頼する連絡が度々くるが、都合がつかない家のためにもバスの回数を増やし送迎出来ないか。	教育指導課	クマの出没を含む緊急な対応が必要な際は、各学校から一斉メールを配信し、保護者に迎えをお願いし確実に引き渡すようにしております。その際、児童生徒の安全確保のため、保護者が迎えに来るまで学校に待機できるような体制を整えております。引き続き、行政・学校・家庭が連携しながら安全な登下校に努めてまいります。
10		インターネットでの施設予約も増えている。市のホームページが分かりにくいところがあるので、スッキリしたものに改善してほしい。	DX推進課 広報広聴課	インターネットでの施設予約については、スポーツ施設の予約システムを現在構築中であり、令和6年度から運用開始予定です。その他施設の予約についても順次拡大したいと考えています。 ホームページについては、令和6年11月の全面更新に向けて準備を進めております。